

びとう和広後援会ニュース

2007.11.05

第16号

発行責任者
長谷川満敏



晩秋の候、朝夕の冷え込みに身の震える日が続く、暖房器具が恋しくなる季節ですが、後援会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、皆様から力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

先の7月29日の参議院選挙では、民主党の大勝というより、自民党の自滅のような歴史的な選挙となり、参議院では民主党が第一党という衆参ねじれ現象の複雑な国会情勢となりました。これにより、議論せずに強行採決で法案を通すことが難しくなり、やっと審議が出来る国会が期待できそうです。これも、皆様の一票の積み重ねによるものと、改めて一票の重さを実感すると共に皆様に御礼申し上げます。

その後、安倍首相が突然辞任し、福田首相の登場、民主党との連立構想と、自民党の与党への執着の強さを感じております。私は、民主党においては、政権交代は通過点であり、しっかりとした政策論争で国民に認められる政党となり、その結果として、政権を任せられる政党になるように、国会議員にお会いする機会があれば、その都度、強く訴えております。

三田市では、同じ7月29日に市長選挙が行われ、三田市としては珍しく4人が乱立する激戦を制して前副市長の竹内英昭新市長が誕生いたしました。公約にもありました市民病院対策と行財政改革を、市民との対話を重視しながら進めているところです。

三田市の今年度予算は骨格予算ということで、新規事業をほとんど凍結してのスタートでしたが、今回の9月議会では、市民病院の立て直し施策はじめ、喫緊の課題を取り纏め9千5百万円の補正予算が組まれました。私も、皆様のご意見・ご要望をいただき、安全・雇用・福祉・子育て・環境など尽力してまいります。

後援会行事では、7月27日三菱電機三田製作所の夏祭りに協賛、8月8日ビアパーティ開催など皆様との対話・ふれあい活動を進めてまいりました。11月に松が丘地区のミニ集会を開催し、私の活動報告と、地区での課題や対策を意見交換させていただきます。

これからも、皆様のお宅訪問、地域市政報告会、後援会行事を行ない、皆様の身近な問題やいろいろなご意見・ご要望をお伺いし、厳しい財政下、選択と集中で、市民サービスの一層の向上、安心安全・活気活力の元気なまちづくりに向け、精一杯頑張ってお参ります。力強い御支援のほど、よろしくお願ひいたします。

三田市議会議員 **かずひろ**
びとう 和広



活動報告

8～10月の活動

委員会

9/_6: 9/27: 生活環境委員会(委員長として)

市民病院の医師・看護師不足に向けた取り組みを報告頂き、予算化に向けた審議を実施。行財政改革では、人やサービスを削減することだけが経費節減になるのではなく、陣容を整え、サービスを明確にし、患者さんとの信頼の上に、ベッドや設備を有効活用できる体制作りこそ、再建の鍵であり、そのためにも、医師・看護師・技術・事務の連携と一人一人の意識改革が必要である、と訴えました。

8/21,9/_6,10/3: 議会のあり方委員会

決算・予算特別委員会の問題は8人の委員による3日間の集中審議で、総括審議に重心が移り、項目ごとの検証が甘くなっている。今回、決算審査を、4つの常任幹事会で一日ずつしっかり審議をし、その後1日では派別総括審議(持時間=15分×人数)を実施する。

会派視察

10/15-16: 地方自治フォーラム参加(熊本:熊本城築城400年記念で開催)・竹中平蔵氏の講演など

行事出席

8/_5: 三田まつり 参加

8/21: 三田教育フォーラム 出席

8/28: 三田地区ハートフルコンサート 参加

地区民生・児童委員主催の高齢者向け行事(有馬高校・八景中・三田小の吹奏楽演奏や劇団のショー)

9/_2: 消防操法大会 参加

9/_9: 三田地区敬老会 出席(地元議員として挨拶)

9/14: 輪匠会: 労組懇話会 出席

9/15: 三菱電機サッカー部全場所大会開会式出席

9/15: 三木市近隣市町交流バレーボール大会開会式

9/23: 三田市民運動会 出席

10/_7: 天神秋祭り(例大祭)

また、地域の幼・小・中学校・地区の運動会やバレーボール協会の各種大会にも出席しました。

民主党・連合関連行事

8/_9: 関連労組(関西支社支部・通信機支部)ご挨拶

8/_4: 民主党三田地区会 参加

8/18: 民主党三田地区躍進の集い 参加

8/22: 新入組合員式典にて挨拶

8/25: 三菱電機労組組合活動

8/25: 菱三工業定期大会 出席

8/25: 三菱電機伊丹夏祭り(ふるさとまつり)参加

9/_1: 電機連合兵庫地協常任幹事会・定期大会

9/_5: 関西支社新製品展示会 参加

9/18~23: 猪名川町・稲美町 町議選挙 応援

9/21: 三田フィルムコミッション 出席

(観光振興として映画の撮影場所を誘致する活動)

9/22: 三菱電機西部研フレッシュプラン 参加・挨拶

9/30: 三菱電機労連 中央関西地協 総会 参加

10/_6: 民主党5区講演会

(岡田副代表・辻県連代表を迎えて) 参加

議会報告

9月議会は、竹内新市長の施政方針の議論が中心でした。

定例議会(9/12~10/3開催)

9/_3: 定例議会(1日目)市長所信表明

副市長人事(吉岡正剛氏(前理事))

9/25-26: 定例議会(2,3日目)一般質問

キッピーモール運用会社人事

社長: 向田晴彦氏、副社長: 畑中文博氏を決定。

10/_3: 定例議会(4日目)委員長報告・採決

<民主党会派の一般質問: 質疑応答>

1. 市長の市政執行にかかる基本方針について

問: 行政改革によるサービス縮小・負担増と喫緊の課題への対応やマニフェスト遂行との整合性は?

答: マニフェストは任期中のできるだけ早い時期に実現できるよう取り組む。具体的には、市民病院への対応、キッピーモール運用会社の経営再建などは喫緊の課題で、優先的かつ迅速に対応を図る。トップマネジメント会議や経営会議を早朝開催し、重要項目の意思決定を行政経営の視点でスピード感を持って進める。

問: 行財政改革において、市民や職員への説明責任は?

答: 市民に対し、出前講座・本音でトーク・広報紙・市ホームページ等様々な手段で判りやすく工夫する。来年度から「行政改革マニフェスト」として取り組みを市民に約束・公表し、行政改革に対する意識高揚を図る。職員の福利厚生や労働条件については職員団体と協議をし、市民の目線に立った業務改善を進める。

2. 第二テクノパークへの企業誘致の取組みについて

問: 国・県・都市再生機構への働きかけは?

答: 現在再生機構と民間主体の新たな枠組みを検討中。

3. 温室効果ガス削減など環境対策について

問: 小中学校の光熱水費削減 50:50(効果の半分を予算として使え、最も削減した学校に賞金)はどうか?

答: 水道の節水器の導入など成果がでてきている。

問: 省エネ運転や公共交通機関の利用促進はどうか?

答: 自動車に依存しない生活スタイルへの変革が理想だが、社会・経済的には難しく、意識改革と協働が必要。

4. キッピーモール運用会社の経営改善について

問: 三田駅前のNKビルや上津台のモールの影響は?

答: 1階2階と一部のテナントは順調。交通の優位性と合わせ、地域密着の商業施設をめざし存在意義を示す。

問: 民間より新社長を迎えることについて

答: 民間の視点に立った事業内容や経営の検証、変化に即応できる商業施設の運用に期待し、自立した経営を前提としつつ商業施設としての運営のあり方が適正になされているかなど、注視する。



私が委員長を務める生活環境常任委員会の様子。本会議と違、6人の委員が当部の部長・課長と政策審議をします。

9/27

調査報告

9月議会で環境基本条例が制定されました。これから具体的な基本計画の策定をしていきます。市の考え方や取り組みと、私の考えについて報告いたします。

<環境問題の具体的取り組みについて (Vol.2)>

三田市では「三田市民の環境を守る条例」が昭和50年に施行され、環境保全として公害防止し、良好な生活環境や自然環境を確保し、人と自然が調和した住みよい豊かな環境の創造・保全を図り、市民の健康を保護することに取り組んできました。今回、温暖化をはじめとする地球環境を考慮した基本条例・計画を制定し、地域環境の整備を図るものです。

・三田市環境基本条例

市として環境施策の理念を持ち、市行政・市民・事業者の協働による環境の保全と創造を図るもので、それぞれの責務などをまとめた「三田市環境基本条例」が9月議会で承認され、11月1日からの施行です。



三田クリーンセンターが主催のリサイクル市民プラザ。アーチをくぐれば商店街。

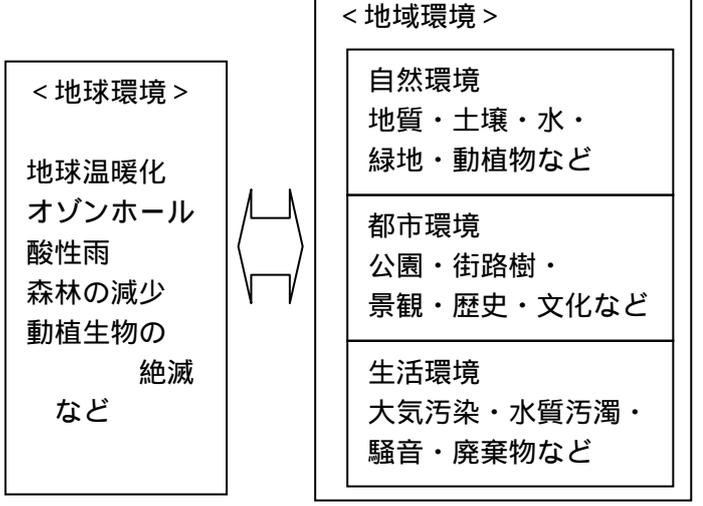


さわやかな秋空のもと、模擬店やフリーマーケットのテントがたくさん並びました。



リサイクルセンターが修理した自転車様が抽選で当たりました。新品同様のももありました。

環境の範囲



・三田市環境基本計画

環境基本条例を受けて、環境の各テーマについて具体的な目標数値を定めて活動するもので、12月を目途に答申し、平成20年4月より実施を図るものです。詳細は策定中ですが、しっかりと指針を出すことで、市の環境姿勢が固まります。

省エネ活動に対する後援会の皆様のご協力をよろしく願いいたします。下に省エネのチェックシートを作ってみました。皆様もぜひお試しください。

省エネチェックシート

1. レジ袋を断り、マイバッグに入れてもらう。
2. 外食にはマイ箸を持参する。
3. 週に一度はテレビレスの日を持つ。
4. 週に一度はマイカーレスの日を作る。
5. 水道やシャワーをこまめにとめる。
6. 電気をつけっぱなしにしない。
7. スイッチ付コンセントで待機電流をカット。
8. エレベーターより階段を使う。
9. 夏はスタレや立て簾や打ち水で部屋を涼しく。
10. 冬は厚着で部屋の温度を上げない。
11. 食べ残しが出ないように少なめに盛り付ける。
12. 一日一善ゴミ拾い。

三田市現在の具体的取り組みとして

- ・マイバッグ持参（レジ袋いりません）運動
- ・チーム・マイナス6%（二酸化炭素削減）運動
- ・リサイクル市民プラザ開催
- ・地球温暖化対策実施運動計画（市職員事務事業の取り組みで、将来的に地域に拡大を図る）などがあります。

写真のように大盛況のリサイクル市民プラザを、行財政改革でやめる、と提案がありました。行財政改革は無駄なお金を削減するのが目的で、このように市民に環境を訴え、協働の活動を、予算が無いからやめる、では、本末転倒です。断固抗議しました。

私たちにできる第一段階は、省エネ・省資源です。3R運動（ゴミの削減・再使用・再資源化）を推進することが大切です。各人が、まず「ゴミの素」を買わない、ゴミを出さない・もったいないを積み重ねることだと思います。私も、市のマイバッグ運動に率先して、携帯マイバッグ（折畳めば10センチ×14センチ程度で厚さも5ミリ程度）を持参しています。皆様のご理解・ご支援をお願いいたします。

後援会活動報告

日ごろより後援会行事にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

皆様の声を直接お聞きできる機会として、行事を開催してまいります。びとう和広は、皆様から頂いた、一つひとつの案件に真剣に取り組み、その改正や実現に向けて全力で頑張ります。

これからも力強いご支援・ご協力のほど、何卒よろしく願います。

これからの活動計画のご案内です。

11/10(土)松が丘地区ミニ集会

- ・ 18:00~19:00
- ・ 友が丘第1集会所

多くのご意見やご要望をよろしく願います。
志手原・小野・母子地区、高平地区、広野地区のミニ集会は来年2月に実施の予定です。



三菱電機三田の夏祭りにて後援会として協賛しました。百円野菜市は、三十分で完売。写真はあてものコーナーです。



後援会主催のビアパーティ

びとう和広の視点

10月から小泉元総理念願の郵政民営化がいよいよスタートしました。当面、サービス維持を条件に動いているようですが、元郵便局の方々も2~3年後どうなるのか、不安なようです。私の家にも簡易保険・学資保険・養老保険の確認に来られました。

郵パックはいきなりペリカン便と提携するなど、業務提携や業界再編への影響は必至と思います。

さらに、原油価格の値上げやバイオ燃料の材料費高騰により、輸送費・プラスチック加工品・飼料・肉類が次々と値上げとなりました。

参議院は民主党が第一党のねじれ国会も、安倍総理の突然の辞任を引き継いだ福田内閣での審議が本格化しています。国民生活の悲鳴はさておいて、テロ対策の給油活動の是非をめぐっての攻防、ひいては事務次官の接待問題・業界との癒着、国会答弁の嘘(数字を根拠に説明したので明らかに偽証です)を早く決着し、国民に視点を戻して欲しいものです。

納めた年金を着服する職員、血液製剤の問題も実名を把握しながら隠してきた職員、そして議員の事務所費や政務調査費問題、などなど…政・官だけかと思うと、「食の安全」と言ってきたはずなのに、次々と明るみになる表示偽装、新たに出てきた耐震偽装、など、さらにこれらを報道する報道機関の捏造問題も発覚しました。こうして見ると、何を信じてやっていけばよいのか、分からなくなってきました。

三田市では政治と金問題はかなり厳しく取り扱われるようになりました。ただ、職員の原価意識の低さと責任が不明確な体質は国と同様と感じます。

私は、議会のあり方として、具体的事業ごとに、目的・指標・目標・実績・予算・決算・効果が判りしっかりと議論できる仕組みづくりが、事業と部署の責任の明確化であり、本当の開かれた議会だと考えています。

ぜひ皆様のご意見・お考えをお聞かせ下さい。

びとう和広後援会より

後援会会員の皆様方には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございます。心より厚く御礼申し上げます。

『びとう和広』は、議会に送り出して頂いて3年が過ぎ、まだまだ未熟ながら精一杯頑張っております。

今回、常任委員長という重要な役割を頂き、役目を果たすため、精力的に活動を進めており、議会活動に

力強く邁進していると感じております。

『びとう和広』は、これからも、後援会の皆様に少しでもお出合いができるよう、また、より多く皆様の声をお聞きし、問題解決に向け、全力で活動する所存でございます。

何卒、皆様の倍旧のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

びとう和広後援会 会長：長谷川 満敏

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730
<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp
<ホームページ> <http://www.bitou-kazuhiro.com>